

ゼミ研究活動の紹介

1. 研究活動内容

■ 3年前期

輪読： 2冊の本を読み、内容理解を深める。

参考) 2016年度は『日本のもの造り哲学』と『原因を推論する』の2冊。

■ 3年後期

グループ研究：

1人あるいは3人程度のグループで、関心のあることについて研究・発表する。

2016年度の研究

モノが売れない時代

「モノが売れない」と言われる時代に、企業はどのような経営戦略を図っているのか
CDを具体例に調べています。

本屋が生き残るには

インターネットショッピングの普及や大型店舗の地方進出などの状況中で、
本屋を具体例に小売店が生き残っていく条件、戦略について研究しています。

格差社会

資本市場が進む現代、資本収益率が経済成長率を上回る可能性が高く、
このままでは今後の格差拡大につながりかねません。トマ・ピケティの研究から理解を深めます。

2. 特記事項 (プロジェクトへの参加)

■ 産学提携・旅行商品開発プロジェクトへの参加

名鉄観光サービス・日本航空 (JAL) との産学連携コラボである旅行商品開発プロジェクトに参加しました。今年度のテーマは「冬の北海道」で、私たちなりの旅行企画案を作成・発表しました。優勝すると自分たちのプランが実際に商品化されるということだったので、緊張感をもって参加することができました。また、社員さんに直接お話しを伺うことや、職場見学といった体験もできました。